

# 今、中小企業の会計が大きく変わる

・・・日本でいち早く私たちが取り組みます・・・

## 1. はじめに

---

今回から『今、中小企業の会計が大きく変わる』を連載させていただきますファイナンシャルプランナーの大熊信行と申します。以後よろしくお願ひ申し上げます。

早速ですが、皆様は、「中小企業の会計に関する指針」というものをご存知でしょうか。中小企業のために作られているものですが、意外と知られていないように思います。それは、中小企業の経営の状況を正確に知るための手ほどきになっているものなのです。

## 2. 経営者と会計事務所等の関係

---

しかし、現在のところ経営者に十分に活用されていません。それはなぜでしょうか。

一つ目の理由としては、会計は難しいと多くの経営者が錯誤しているからでしょう。

二つ目の理由としては、実務における会計業務の目的が税金を納めること、あるいは、税金を納めなくて済むようにすること、となっているからでしょう。

面倒だから、その指針を活用せず、会計事務所等に依頼している例をよく見受けます。

## 3. 経営者のための会計とするために

---

そもそもの会計の目的は、会社の経営状況を正確に知ることにあります。そして、正確な経営状況を知るべき人は、まず経営者自身に違いありません。にもかかわらず、その努力を試みず、会計事務所等に依頼している例を多く見受けます。そのような会社の経営者でも、売上の増減、儲けの趨勢など、感覚的には会社の状況をお分かりでしょう。とはいえ、数字で見える形での会社の現状をご存じない場合が多いように思われます。

## 4. 今だけから先に見える経営者へ

---

今だけから先に見える経営者へ、経営者は生き残るために、経営者自身が自分の会社が置かれている状況を知る必要があるでしょう。そこで、「中小企業の会計に関する指針」をもっと活用し、会計を経営者が自ら遵守しようと思ひ、経営者が自ら理解でき、経営者が自社の経営状況の把握に役立つものへと、いう流れが近年芽生えてきた様です。この連載では、変化を遂げようとする中小企業の会計について追いかけてみたいと考えています。

会計を経営者が自ら遵守しようと思ひ、経営者が自ら理解でき、経営者が自社の経営状況の把握に役立つものへ